

GISELLE

ジゼル

新国立劇場バレエ団
The National Ballet of Japan



英国ロイヤルオペラハウスを沸かせた極上のステージ 福岡・兵庫で凱旋上演

2025年7月、イギリスの名門劇場・英国ロイヤルオペラハウスを満員にし、現地主要メディアで最高評価の5つ星を獲得！英国舞踊批評家協会賞最優秀カンパニー賞を受賞するなど、ロンドンの観客を魅了した『ジゼル』を、福岡、兵庫で上演します。

演出を手がけたのは、かつて英国ロイヤルバレエのプリンシパルとして活躍し、現在は舞踊芸術監督として新国立劇場バレエ団を率いる吉田都。演劇の本場・英国の薫りが漂うドラマティックな演出でダンサーたちが登場人物たちの細やかな感情の揺れを、言葉を越えた豊かな表現力で描き出します。新国立劇場バレエ団ならではの群舞の幽玄な美と、心揺さぶるドラマを、ぜひ劇場でご体感ください。

福岡公演

主催：新国立劇場、RKB毎日放送、西日本新聞社

共催：（公財）福岡市文化芸術振興財団

後援：福岡市

協力：キャナルシティ劇場

兵庫公演

主催：新国立劇場、兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

協力：MBS テレビ

オフィシャルスポンサー：  株式会社 木下グループ

助成：  クリエイター支援基金

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

NATIONAL
BALLET
OF JAPAN

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

TEL：03-5352-5735／FAX：03-5352-5737／e-mail：shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

広報室

TEL: 03-5352-5781／FAX: 03-5352-5709／e-mail: press@nntt.jac.go.jp

見どころ

1. ダンサーたちがリアリティをもって紡ぐ、愛と赦しの物語

ロマンティック・バレエの不朽の名作として、今日まで愛されている『ジゼル』。恋人に裏切られたショックで命を落とし、精霊となってもなお恋人を守ろうとする少女の物語は、ロマン主義的な神秘的な世界を描きつつも、現代の私たちに響く普遍的なテーマを描き出します。

2022年に初演された際に吉田都芸術監督が目指したのは、「ロマンティック・バレエとしての伝統をリスペクトしつつ、今の新国立劇場バレエ団にふさわしい見応えのあるバレエ作品」。緻密に練り上げられた登場人物のキャラクター像や背景、それに基づく丁寧な心理描写により、物語の力を最大限に引き出した、極めて説得力のあるプロダクションが誕生しました。

2. 新国立劇場バレエ団のためにつくられた、緻密でダイナミックな振付

英国ロイヤルバレエで活躍したアラスター・マリOTTによる改訂振付は、主役から群舞に至るまで、さりげなく高度なテクニックが散りばめられているのが特徴です。

第1幕の村人たちの群舞による複雑かつスピーディーなフォーメーション、ソリストたちの超絶技巧が光る「ペザント・パ・ド・ドゥ」、そしてジゼルとアルブレヒトのパ・ド・ドゥが生み出す幽玄の美。なかでも第2幕のウィリたちによる群舞の精緻さと幻想的な美しさは、2025年のロンドン公演でも大絶賛を浴び、現地紙で "thistledown lightness (アザミの綿毛のような軽やかさ)" (*The Independent*, Zoe Anderson, 2025年7月25日) と称えられました。

新国立劇場バレエ団ならではの圧倒的な一体感と情感豊かな演技が息づく『ジゼル』で、カンパニーの魅力を存分にご堪能ください。

3. ドラマが際立つ舞台美術と照明

ヨーロッパのキリスト教と土着の文化の狭間にある世界観を表現したディック・バードの舞台美術も大きな見どころです。想定されている時代について絵画などリサーチを深く行い、その年代に忠実なデザインを踏まえつつ、キャラクターたちの役柄などに合わせ吉田監督と話し合いを重ねながら形づくられていきました。例えば、第1幕の農村に置かれたリアルなワイン圧搾機からは、そこで生きる人々の日常の息遣いが聞こえてくるよう。一転して第2幕では、ジゼルと同様に未婚のまま亡くなった若い女性たちの墓標が立ち並び、観客を幻想的な死の世界へと誘います。

リック・フィッシャーが手掛けた照明も、物語をつくりあげる重要なピースのひとつ。幻想的な月明かりからアルブレヒトが救われる夜明けの光など、時の移ろいを感じさせる美しい照明が物語を際立たせます。

こうした舞台美術や照明からも『ジゼル』という美しくも悲劇的な物語がリアリティを伴って立ち上がります。



撮影：鹿摩隆司

ものがたり

ブドウ収穫祭をひかえた中世ドイツの村。公国の王子アルブレヒトは、隣村の村人に変装し、村娘ジゼルを口説いている。森に住むヒラリオンもジゼルに恋しており、アルブレヒトの正体を不審に思う。ジゼルの母ベルタは、心臓が悪く体も弱い娘を心配しており、アルブレヒトとの交際を認めずにいる。大富豪の娘バチルドと、アルブレヒトの伯父クールランド公爵の一行が村に到着すると聞いたアルブレヒトは身を隠す。村人のもてなしを受け、優しいジゼルに惹かれたバチルドは、お互い結婚を控えている者同士として彼女に首飾りを贈るが、よもや相手が同じ男性とは知るよしもない。収穫祭のさなか、ヒラリオンは公爵家の紋章がついた角笛を吹いてアルブレヒトの正体を全員の前で明らかにする。アルブレヒトが実は王子で、バチルドと婚約していることを知ったジゼルは愛する人の裏切りに打ちのめされ、ついには心臓が止まって息絶えてしまう。



夜が更け、木々がうっそうと生い茂る古い墓地。恋人に裏切られ失意のうちに亡くなった乙女たちの霊、ウィリたちが潜んでいる。ウィリの女王ミルタは、男を見つけたら死ぬまで踊らせるようウィリたちに命じる。ジゼルの墓に花を供えに訪れたアルブレヒトは罪の意識にさいなまれて許しを請う。その姿を見たジゼルは、変わらぬ愛をもって優しく許す。ミルタとウィリたちは同じくジゼルの墓にやってきたヒラリオンを追い詰め崖から転落死させた後、アルブレヒトにも死を告げ、日の出まで踊ることを強いる。力尽きそうになる度、自分のために踊るジゼルに守られ、ついにアルブレヒトは夜明けまで生き延びることができた。ウィリたちを縛る憎悪と復讐の鎖を断ち切った彼女は自らの墓に戻って安らかに眠り、一人残されたアルブレヒトは墓の前で涙を流すのであった。

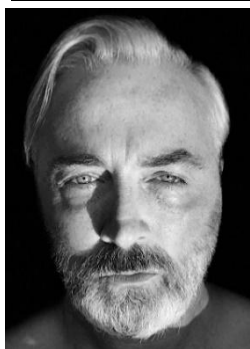
スタッフ

【演出】 吉田 都 YOSHIDA Miyako



9歳でバレエを習い始め、1983年ローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞受賞。同年、英国ロイヤルバレエ学校に留学。84年、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエ（現バーミンガム・ロイヤルバレエ）へ芸術監督ピーター・ライトに認められて入団。88年にプリンシパル昇格。95年に英国ロイヤルバレエへプリンシパルとして移籍、2010年に退団するまで英国で計22年にわたり最高位プリンシパルを務める。日本国内では1997年の開場記念公演『眠れる森の美女』をはじめ、新国立劇場バレエ公演での99年『ドン・キホーテ』『シンデレラ』、2000年『ラ・シルフィード』、04年『ライモンダ』ほか、数多くの公演に主演している。ローザンヌ国際バレエコンクール審査員を務めるほか、後進の育成にも力を注いでいる。バレリーナとしての功績と共にチャリティ活動を通じた社会貢献が認められ、04年「ユネスコ平和芸術家」に任命される。12年には国連UNHCR協会国連難民親善アーティストに任命。20年9月より新国立劇場舞踊芸術監督。01年芸術選奨文部科学大臣賞、06年英国最優秀女性ダンサー賞、11年第52回毎日芸術賞など受賞多数。07年に紫綬褒章並びに大英帝国勲章（OBE）受賞、17年文化功労者、19年菊池寛賞。

【改訂振付】 アラスター・マリOTT Alastair MARRIOTT



1988年に英国ロイヤルバレエに入団、92年ソリスト昇格。2003年よりプリンシパル・キャラクター・アーティストとなり、振付家としての活動を始める。ロイヤルバレエではフレデリック・アシュトン、ケネス・マクミランの振付作品や古典などに幅広く出演し、19年に振付に専念するため退団。ロイヤルバレエのために7つの一幕作品を振り付け、最新作である19年『アン・ソルジャー』は、オリヴィエ賞候補となった。ロンドンの舞踊批評家協会最優秀クラシック振付家賞に3度ノミネートされ、15年『ツァイトガイスト』でロシアのゴールデン・マスク賞候補となる。英国ロイヤルバレエ学校でも3作品を振り付け、英国ロイヤルオペラ『ロシア皇后のスリッパ』でも振付を手掛けた。他に10年のロイヤル・バラエティー・パフォーマンスのためのパ・ド・ドゥの振付や、ダーシー・バッセルへの『キス』『赤い靴』の振付も手掛け、12年のロンドン・オリンピックの閉会式ではクリストファー・ウィールドンとも協働した。近年は、アンソニー・バンクス演出『アフター・ミス・ジュリー』でヘレン・ジョージへの振付を手掛ける。

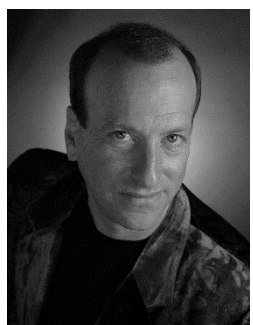
【美術・衣裳】 ディック・バード Dick BIRD



ディック・バードがこれまでに手がけたオペラのデザインは『中国のニクソン』『ガラントウリーズ』『ミカド』（スコティッシュ・オペラ）、『オテロ』（ウィーン国立歌劇場）、『ストリート・シーン』（デアトロ・レアル）、『アンナ・ボレーナ』『真珠採り』（メトロポリタン歌劇場、イングリッシュ・ナショナル・オペラ）、『湖上の美人』『花火師の娘』（英国ロイヤルオペラ）、『ベアトリスとベネディクト』（オペラ・コミック座）などがある。バレエでは『くるみ割り人形』『アラジン』（バーミンガム・ロイヤルバレエ）、『ドラゴン・クエスト』『くるみ割り人形』（スターダンサーズ・バレエ団）、『夏潮』（サラソタバレエ）、『ラ・バヤデール』（Kバレエカンパニー）、『カンタヴィルの亡霊』（イングリッシュ・ナショナル・バレエ）などを手掛けている。その他演劇では、『ハムレット』『ラ・グラン・マージ』（コメディ・フランセーズ）、『十二夜』『テンペスト』『あわれ彼女は娼婦』（ポーランド劇場）や、UKシアターアワードでベストデザイン賞を受賞した『未来は今』（ナフィールド・サウサンプトン劇場／リバプール・エブリマン劇場）をデザインしている。新国立劇場バレエ団では、『火の鳥』と『アラジン』の装置デ

ザインを手掛けている。

【照明】 リック・フィッシャー Rick FISHER



フィラデルフィア生まれ。2度のオリヴィエ賞のほか、ブロードウェイで上演された『インスペクター・コールズ』『ビリー・エリオット』でトニー賞受賞。ロンドンでの『赤ずきん』『ラ・マンチャの男』『ムード・ミュージック』『レント』『サニー・アフタヌーン』『炎のランナー』『ユダの接吻』『ウェイスト』『ピーター・パン』などの他、『ドン・カルロ』『蝶々夫人』（ロサンゼルス）、『椿姫』（オマーン王立歌劇場）、『紫禁城』『ヴェニス商人』『オテロ』（シンガポール）、『王様と私』（パリ、シカゴ）、『スウィーニー・トッド』（パリ、ヒューストン、サンフランシスコ）、『ザ・オーディエンス』（ブロードウェイ）、ディズニー『ノートルダムの鐘』（ベルリン）、サンタフェ・オペラでの25作品以上を手掛けている。日本では『ビリー・エリオット』（ホリプロ）、『マタ・ハリ』（梅田芸術劇場）、『ファルスタッフ』『サロメ』（サイトウ・キネン）、『赤鬼』『THE BEE』（野田地区）、マシュー・ボーン『白鳥の湖』『インスペクター・コールズ』（アートスフィア）、『リア王』『ハムレット』（東京グローブ座）などに携わる。英国照明デザイナー協会会員。2017年カイロニ特別功労賞ナイツ・オブ・イルミネーション賞。

【指揮】 富田実里 TOMITA Misato



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBA バレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『白鳥の湖』『不思議の国のアリス』を指揮した。

キャスト

福岡公演

2026 年 11 月	14 日(土) 14 : 00	15 日(日) 14 : 00
ジゼル	米沢 唯	柴山紗帆
アルブレヒト	井澤 駿	福岡雄大

兵庫公演

2027 年 1 月	23 日(土) 14 : 00	24 日(日) 14 : 00
ジゼル	小野絢子	木村優里
アルブレヒト	奥村康祐	渡邊峻郁

<ジゼル>



小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007 年に新国立劇場バレエ団に入団。08 年 D.ビントレー『アラジン』の主演に抜擢され、その後もほぼ全ての作品で主役を踊る。11 年プリンシパルに昇格。13 年『アラジン』、14 年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11 年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14 年服部智恵子賞、16 年橘秋子賞優秀賞、19 年芸術選奨文部科学大臣賞。



木村優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15 年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ジゼル』などの古典作品や F.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主演、『ラ・バヤデール』ガムザッティ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王、H.ランダー『エチュード』などを踊っている。22 年プリンシパルに昇格。17 年舞踊批評家協会新人賞、20 年中川鋭之助賞を受賞。



柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル>

東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014 年に新国立劇場バレエ団に入団。15 年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』『ジゼル』『眠れる森の美女』、F.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『マノン』の主演、G.バランシン『テーマとヴァリエーション』『シンフォニー・イン・C』第一楽章などを踊っている。21 年ファースト・ソリスト、23 年プリンシパルに昇格。



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010 年に新国立劇場バレエ団に入団。11 年『パゴダの王子』で初主役を務め、13 年プリンシパルに昇格。初演した主な役には W.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリスなどがある。25 年『ジゼル』ロンドン公演では初日公演の主演を務め、「理想的なジゼル」と高く評された。17 年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18 年舞踊批評家協会新人賞、20 年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。

<アルブレヒト>



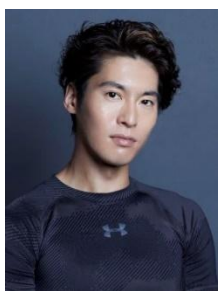
井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014 年新国立劇場バレエ団に入団。同年 F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17 年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典や P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、H.ランダー『エチュード』、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18 年中川鋭之助賞、20 年舞踊批評家協会新人賞、22 年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



奥村康祐 OKUMURA Kosuke <シーズン・ゲスト・プリンシパル>

大阪府出身。母・地主薫に師事し、09 年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12 年新国立劇場バレエ団に入団し、16 年よりプリンシパル。『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』などといった古典作品や D.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを踊っている。10 年文化庁芸術祭新人賞、14 年舞踊批評家協会新人賞、16 年中川鋭之助賞、22 年芸術選奨文部科学大臣賞。



福岡雄大 FUKUOKA Yudai <シーズン・ゲスト・プリンシパル>

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て 2009 年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12 年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』、平山素子『春の祭典』でも高い評価を得る。11 年中川鋭之助賞、13 年舞踊批評家協会新人賞、18 年芸術選奨文部科学大臣新人賞、23 年芸術選奨文部科学大臣賞、25 年牧阿佐美賞、26 年服部智恵子賞受賞。



渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009 年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19 年プリンシパル昇格。古典作品の主役や C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、F.アシュトン『夏の夜の夢』オーベロン、『Shakespeare THE SONNETS』などを踊り好評を博している。

新国立劇場バレエ団について

新国立劇場バレエ団は、新しい舞台芸術の拠点として開場した劇場とともに、島田廣初代芸術監督のもと、1997年に発足しました。レパートリーは古典をはじめ、20世紀の名作から現代振付家の作品、新国立劇場オリジナル作品まで多岐に渡ります。

2020/2021 シーズンからは、英国で長年プリンシパル・ダンサーとして活躍してきた吉田都がリーダーシップを取り、本拠地の新国立劇場をはじめ全国で毎シーズン約75公演を実施しています。

2025年7月には『ジゼル』を英国ロイヤルオペラハウスで上演。「技術的にも芸術的にも世界の主要バレエ団と肩を並べる実力を持っていることを示した」と現地主要メディアから5つ星評価を獲得し、第26回英国舞踊批評家協会賞最優秀カンパニー賞を受賞するなど、高い関心と評価を得ました。新国立劇場バレエ団は日本を代表するバレエカンパニーとしてバレエの普及に努め、さらに進歩し続けています。



新国立劇場について

新国立劇場は、日本唯一の現代舞台芸術のための国立劇場として、オペラ、バレエ、ダンス、演劇の公演の制作・上演や、芸術家の研修等の事業を行っています。オペラパレス、中劇場、小劇場の3つの劇場を活用し、年間約300ステージの世界水準の主催公演を行っています。

所在地：東京都渋谷区本町 1-1-1

<https://www.nntt.jac.go.jp/>



公演概要&チケット情報

新国立劇場バレエ団
ロンドン公演凱旋企画

ジゼル

Giselle

振付 ジャン・コラリ / ジュール・ペロー/マリウス・プティパ

演出 吉田 都

改訂振付 アラスター・マリオット

音楽 アドルフ・アダン

美術・衣裳 デイック・バード

照明 リック・フィッシャー

芸術監督 吉田 都

出演 新国立劇場バレエ団

指揮 富田実里

管弦楽 九州交響楽団（福岡公演）
関西フィルハーモニー管弦楽団（兵庫公演）

【公演日程】

〔福岡市民ホール〕

2026 年 11 月 14 日（土）14:00

2026 年 11 月 15 日（日）14:00

〔兵庫県立芸術文化センター〕

2027 年 1 月 23 日（土）14:00

2027 年 1 月 24 日（日）14:00

* 福岡公演の開場は開演 60 分前、兵庫公演の開場は開演 45 分前です。
開演後のご入場は制限させていただきます。

【会場】 福岡市民ホール 大ホール／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

【予定上演時間】 約 2 時間 15 分（休憩含む）

【ウェブサイト】 <https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/giselle/>

【チケット料金（両公演とも）】

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席	Z 席*
料金（税込）	15,950 円	13,750 円	10,450 円	8,250 円	6,050 円	1,980 円

◆クラブ・ジ・アトレ会員の方は、先行販売期間は上記料金の 10%OFF、一般発売以降は 5%OFF でお求めいただけます。

◆新国立劇場で取り扱う席種、各種割引については、[割引等のご案内]を必ずご確認ください。

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は、公演当日朝 10:00 から、チケットぴあにて全席先着販売いたします。1人1枚です。電話での予約は承れません。Webボックスオフィスでの取り扱い、および当日券売り場での取扱いはございません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行販売期間：2026年7月4日（土）10:00～7月27日（月）

新国メンバーズ先行販売期間：2026年7月10日（金）10:00～7月27日（月）

一般発売日：2026年8月9日（日）10:00～

※新国立劇場ボックスオフィスでのチケット取り扱いは以下の日程で終了いたします。

福岡公演：2026年11月6日（金）

兵庫公演：2027年1月15日（金）

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <https://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

セブン-イレブン販売あり（Pコード：福岡 543-256、兵庫 543-257）

〔兵庫公演〕兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス <https://www.gcenter-hyogo.jp/>

〔福岡公演〕キャナルシティ劇場 MEMBERSHIP <https://canalcitygekijo.eplus.jp/>

チケットぴあ <https://pia.jp/t/> 【Pコード：福岡 543-272、兵庫 542-483】

イープラス <https://eplus.jp/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/> 【Lコード：福岡 82132、兵庫 53718】

アソビュー！ <https://www.asoview.com/>

チケットサンライズ <https://sunrisetokyo.com/>

※各プレイガイド先行受付あり。取り扱いについては、各プレイガイドにご確認ください。

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

【割引等のご案内】

お申し込みの際に、割引をご利用の旨お知らせください。（D・Z席は対象外）

各種割引は公演当日の午前 9:00 までご利用いただけます。（当日学生割引を除く）

●高齢者割引（65歳以上）・学生割引：**5%割引**

取り扱い：ボックスオフィス（窓口・電話）、Web ボックスオフィス、チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット、アソビュー、キャナルシティ劇場 MEMBERSHIP（福岡公演のみ）、チケットサンライズ

※ご入場時にご年齢が記載されている証明書・学生証を確認させていただく場合がございます。

●ジュニア割引（中学生以下）：**20%割引**

取り扱い：ボックスオフィス（窓口・電話）、Web ボックスオフィス、チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット、アソビュー、チャンネルシティ劇場 MEMBERSHIP（福岡公演のみ）、チケットサンライズ

※ご入場時にご年齢が記載されている証明書を確認させていただく場合がございます。

●U25：**正価の半額以下** ※枚数・席種限定

取り扱い：チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット

<福岡公演>9月26日（土）12:30 発売（予定）

<兵庫公演>12月5日（土）12:30 発売（予定）

●当日学生割引：**50%割引**

取り扱い：公演当日に残席がある場合のみ 当日券売り場にて。要学生証。

●障がい者割引：**20%割引**

取り扱い：チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット、チャンネルシティ劇場 MEMBERSHIP（福岡公演のみ）、チケットサンライズ

要障害者手帳等。

・第一種の障害者手帳等をお持ちの方でお付き添いが必要な場合、お付き添いの方はお1人様のみ無料となります（2人目からは正価になります）。

・お申し込み後、障がい者割引をご利用のお客様ご本人がご来場になれない場合の取り消しはできません。また、お付き添いの方がお1人でご来場の場合、通常席との差額をいただきます。

●車いす席：

車いす席はそれぞれ以下にてお求めください

福岡公演：チケットぴあ

兵庫公演：兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス（電話）

・お付き添いのお客様はお1人様のみ無料となります（2人目からは通常席のご購入となります）。

・車椅子スペースをご利用予定で、車椅子のお客様ご本人がご来場できなくなった場合の取り消しはできません。また、お付き添いの方がお1人でご来場の場合、通常席との差額をお支払いいただきます。